

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市上白根地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

旭北地区においては、地域福祉保健計画・地区別計画の推進母体となる「まちぐるみ福祉推進会議」を中心に、役員・実務者が連携しながら、各種地域課題の共有・解決に向けた取組が推進されています。単位町内会長の交代や、単位町内会の連合からの脱退が続く等、連合町内会を取り巻く環境は変わりつつありますが、昼食会等長年継続している地域活動が多いエリアです。ケアプラザとしては、3年目を迎えた生活支援体制整備事業や地域活動交流事業、地域包括支援センター等各機能をフルに活かしニーズ把握に努めるとともに、活動空白地へのアプローチを引き続きすすめました。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- 基本的に開館時にいつでも相談できる体制を整え、全員で協力のうえ対応しました。
- 地区内の各種会合（地区連合、地区社協、民児協、保健活動推進委員会、消費生活推進委員会、かがやきクラブ、単位自治会役員会等）に毎会同席し、情報提供・意見交換をはじめ個別相談等にも応じ、日常的にも相談できる関係構築に努めました。
- 隔月開催の「地域ケア支援会議」では、個別支援課題をもとに地域での見守り・支えあいにつなげる課題を共有しました。地域住民と地元商店・企業、介護保険事業者等、それぞれの役割強化とネットワーク構築をめざし、各レベル地域ケア会議のテーマ設定につなげていくことができました。
- 昨年度に続き個別の障がい児支援の相談を継続しており、区社協と協力のうえ対象者の家庭と地域住民によるボランティア、小学校等との身近なつなぎ役として担うことができました。

(2) 各事業の連携

- 地域ケア会議では、毎回5職種で分担して事前ヒアリングや出席者依頼調整を行い、事後の関係機関や地域住民への支援活動も連携してすすめました。特に今年度は居宅介護支援のケアマネジャーが常時出席し、その後の支援にも関わる等、地域ケアプラザ総力を結集してすすめました。
- 毎月の5職種ミーティングでは、地域団体の課題共有や新たな支援要請に対する体制の検討を行い、地域支援の協力体制を維持してきました。
- 特に今年度は空き家や集会場の有効活用、新聞販売店との見守り連携策の検討、自主事業の企画等で、各コーディネーターと地域包括支援センターで協力してイベント開催等をすすめ、多くの集客を得ることができました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 職員体制は、全市的並びに法人内の課題対応に絡み、8月には生活支援コーディネーターが交替しました。12月中旬に地域活動交流コーディネーターが退職し一時欠員となりましたが、1月に新採用職員が就きました。
- また、設備維持と人員体制状況等を勘案して、12月から通所介護事業のみ土曜日を休業としましたが、利用者の大半は他の曜日に移行のうえ利用継続となりました。
- 法人の人材育成計画に基づく階層別・課題別・職種別研修や各職種の法人内連絡会等を通じた育成機会への参加に加え、内部全体研修では人権、個人情報保護、文書、経理等コンプライアンスの推進にかかる研修を重点的に実施しました。また、職員会議等では昨年度に引き続きLGBT等の人権研修参加者からの報告等で職員への理解促進に努めました。
- 今年度は施設内各職種が協力して取組むための個別支援事例検討会を開催しました。指定管理者業務だけでなく、介護保険事業、高齢者用市営住宅等生活援助員の協力体制強化につなげました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 地区内の各種会合（地区連合、地区社協、民児協、保健活動推進員会、消費生活推進員会、かがやきクラブ等）に毎回同席し、情報の提供・意見交換だけでなく個別相談等にも応じており、日常的にも情報共有できる関係づくりができました。特に今年度は保健活動推進員との連携で、健康測定会等ケアプラザ主催事業や出張事業で、運営協力を得ることができました。
- 区内食事サービスボランティアの連絡会と地区社協の協働にかかる検討において、社会福祉法人の地域貢献との関係構築を検討する機会をつくり、地域活動の維持発展に社会福祉法人が関わる可能性を協議しました。
- 包括レベル地域ケア会議では、徘徊SOSネットワークシステムの現状について、協力機関・協賛店、福祉関係機関と地域代表者との意見交換を行い、新たに自治会が協賛店として加わりました。また、その後も協力機関巡回を重ね、従業員等の認知症理解促進につなげることができたことから、今後も定期的な連絡会を開催し、地域における見守り連携強化につなげていきます。
- 区薬剤師会との関係構築に関しては、毎回交替で地元薬剤師に地域ケア会議に定例参加協力を得ることができました。

(5) 区行政との協働

- 地域包括支援センターと高齢・障害支援課との連携においては、地域ケア会議や巡回相談等を通じて連携し、個別の相談ケースとして対応しました。
- 地域福祉保健計画・地区別計画の推進には、地域住民との窓口の一部を担い、地域包括支援センター職員もメンバーとして入り、各部会に職員を分担し地区の取組支援をすすめました。
- 今年度は地域ケアプラザ職員の交替が多かったことから、地区別計画の推進においては中軸としての対応より一員としての活動が中心となりました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 引き続き「こどもの居場所兼学習支援事業」等をきっかけに、こどもや障がい児・者等幅広く対応するケアプラザとしての認識を広めるきっかけづくりに努めました。3月には障がい児・者支援の啓発として障害者後見的支援室「絆」との協働であんしんサポーター拡大を目指して講座を実施しました。
- 総合相談でも挙げたように、昨年度に引き続き障がい児の登校支援相談等では、身近な地域のボランティアのフォロー対応を区社協と協働ですすめました。
- 地域包括支援センターとの連携で「医療講座」を地元薬局の協力を得て実施し、地域住民の関心が高い課題であることも改めて認識できました。
- 地域活動ホームや障がい福祉事業所との協働で障がい者余暇活動支援事業を実行委員会の一員として実施しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 設備の経年劣化対策としては、水回りにかかる修繕箇所が多く、9月に3日間一部休業する等の対応がありました。また、定期的なメンテナンス等で利用者に不便が生じないように努めました。
- 夜間利用に関しては、昨年度同様カラオケ倶楽部事業で長期間入院していた方も復帰後参加していただけた等、毎週継続することで利用の安心感を得られているとの感想を得ることができました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 「こどもの居場所兼学習支援事業」では、地域住民のボランティアに加え、横浜商科大学附属高等学校生徒の協力を得て事業を実施し、生徒の地域貢献にもつながりました。
- 今年度も12月に地域包括支援センターとともにボランティア養成事業をシニアボランティアポイント説明会と併せて実施し、地域活動人材の育成機会をつくりました。
- 地域防災拠点運営委員会の一員として、拠点防災訓練では、白根小学校児童や旭北中学校生徒に車いす操作指導等福祉教育の取組をすすめました。
- 介護予防事業でのボランティア育成の講座を実施し、今後各地域での展開に活かせる人材の創出機会をつくりました。
- 昨年度からの障がい児の登校支援をきっかけに、小学校との関係において、新入学の障がい児への相談窓口として認識を深めてもらうことができました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 区役所、区社協とは地区別計画の支援チーム会議での情報交換のほか、区社協とは毎月地域支援にかかる情報共有と年間の地域支援計画を相互に立て、年3回進捗状況を共有しました。
- 上白根コミュニティハウスとの連携で、10-12月の旭区版エンディングノート活用講座や、1月の地域住民向け医療講座等に協力を得て開催し、新たな集客が得られました。
- 広報紙の発行は計画どおり年11回発行し、法人ホームページに毎号掲載し広く情報提供をすすめました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 総合相談記録を共有し、地域情報、ニーズ把握を行いました。各職種はもちろん、区社協1層コーディネーター・地区担当と連携し、既存の事業のほか、空き家や集会所の活用、住み開き等住民から挙げた声を活かした取組の立ち上げ支援をすすめました。
- 区社協とともに地域支援計画を立て、年3回打合せしながら計画的な進行管理をすすめました。
- 毎月の5職種会議での検討をもとに、出張事業の実施や地域ケア会議の事前ヒアリング、協議体の開催等、地域課題の解決に向けた場づくりに努めました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 日常的に総合相談記録を共有するほか、毎月のミーティングや地域ケア会議で、活動空白地を中心に地域住民が抱える課題を採りあげ、活動の活性化につなげる取組を、5職種が相互に分析・共有しました。
- 特に8月には前任の生活支援コーディネーターからの引継を兼ねて地域分析を5職種で総括し、地域の歴史的変遷等の理解を共有しました。
- 8月から就いた新任生活支援コーディネーターも、単位自治会の行事等にも積極的に参加しながら住民から地域課題を直接うかがえる場を増やしていきました。
- 他職種が行う新たな自主事業や出張事業で、町丁別の参加状況の分析を開始しました。集積できるとより人がつながりやすい支援方法の選択が可能になるため、引き続き積極的に分析します。

(3) 連携・協議の場

- 空き家活用に向けて、6月に健康測定会とともに近隣の特別養護老人ホームの協力を得て、栄養講座や老人ホームの選び方講座等を実施し、100名以上の参加がありました。7月以降、地域住民有志が毎月第2日曜日に集まり、今後の活用に向けて持ち主とともに検討を重ねている中、既に近隣住民による読書会等順調に広がっております。
- 1層協議体との連携のもと、食事サービスに関わる団体と地区社協との連携や、社会福祉法人も交えた協議体を開催し、今後の担い手拡充等課題解決につなげました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 連合未加入自治会への情報提供や課題共有について、今年度は町内会福祉部へ定例参加できるようになり、情報共有が進みました。
- 空き家活用の取組に絡み、家主の関係者から市共創推進室を介して大企業やコンサルタント会社が取組の視察を兼ねて高齢化や認知症にかかる先端技術を活かした対策構想等を地域住民に情報提供を得る機会をいただきました。
- 近隣地域ケアプラザや区社協とは、生活支援コーディネーター連絡会で、買物支援サービスリストの発行や移動販売、サロンについての活動を共有し、課題解決に向けた取組を展開できました。
- 横浜旭陵高等学校と地域を結ぶボランティアプロジェクトをひかりが丘地域ケアプラザと、区社協とで立ち上げました。ボランティア活動をすることで生徒は単位取得ができ、地域は担い手育成を進めながらボランティア活動の活性化を図ることができました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 地域ケア会議には、連合自治会や地区社協、民児協を中心とした地域住民のほか、介護保険事業者や区医師会在宅医療連携室、区薬剤師会、地域企業、警察、消防、交通機関等幅広く参加依頼を得られる企画課題を設定し、地域に根ざした見守り体制構築の理解促進につなげています。
- 各地域団体の定例会での情報交換に加え、今年度は地区別計画の推進において、「旭北地区まちぐるみ福祉推進会議」第1部会の取組(見守り体制構築)の一環としての災害時あんしんカードの再活用と自治会支援体制リスト化の検討を支援しました。
- ケアマネジャー向け研修会として、近隣地域ケアプラザと共催で「かみしらね福祉アカデミー」を年4回開催したほか、ケアマネジャー同士の交流学習会等の開催支援もすすめました。

② 実態把握

- 5職種で連携し、総合相談からエリアの単身高齢者世帯や高齢夫婦世帯からの支援内容等実態を集計するなど、地域ケア会議の企画実施の素材として活かしました。
- 今年度新たに体操とサロンを組合せた自主事業を開始し、参加者には気軽にお茶を飲みながら生活課題を把握できるよう職員が関わりました。
- エリア内の医療機関が主催する勉強会の情報を広く地域住民の理解啓発につなげるため、広報紙に講義内容を掲載し、今後の連携を深めるきっかけをつくりました。
- 地域住民向け「医療講座」は、近隣薬局の協力を得て、薬剤師や管理栄養士を講師に、今年度は「健康診断データの見かた」等、疾病予防や栄養知識向上を目的に、疾病予防や栄養知識向上を目的に、疾病予防や栄養知識向上を目的に実施しました。また、新たな参加者層を得るため、一部を出張講座として開催しました。

③ 総合相談支援

- 地域のみなさんが安心して相談できる窓口として即時対応・全員対応に努めました。
- 地区民児協定例会等の参加や会議での制度説明等を通じて、日常的に民生委員が関わる案件がさらに多く寄せられ、介護保険利用、関係機関へのつながりができました。
- エリア内で特に急坂に立地している自治会での相談事案をもとに、自治会役員等と相談しながら個別ケース地域ケア会議のテーマ設定につなげることができたうえ、その後の自治会との接点を深めることができるようになりました。
- 前年度の出張相談は件数も少なかったため、今年度は自治会館で体操後のサロンでの自由な語らいの場として多くの参加を得ることができました。毎回、地域ケアプラザの役割や介護保険利用等の周知にも努め、相談につながることもできました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 司法書士法人に協力を得て、成年後見制度や遺言等の普及啓発講座を開催しました。タウン誌広告掲載も協力を得て、昨年度に比べ飛躍的に受講者・相談者が増え、ニーズの顕在化につなげることができました。
- 旭区版エンディングノート活用講座は、昨年度以上の参加者増をねらい、上白根コミュニティハウスにも協力を得て、前年度より多くの参加を得ることができました。今後、自治会館等より身近な場での開催要望も多くあり、小規模の勉強会等に対応できるよう、すすめ方も工夫していきました。
- 地区消費生活推進員会定例会に毎回参加し、消費者被害防止の普及活動にかかる情報共有とともに、推進員による住民への周知活動を支援しました。また、消費生活応援隊と協働し単位自治会向けに普及活動を実施しました。

②高齢者虐待への対応

- 虐待が疑われる場合は、速やかに区役所職員と同行訪問等で状況確認しています。特にケアマネジャーとは必要に応じカンファレンスを実施する等支援者間で連携しました。
- 徘徊SOSネットワークの対応等では、通所介護や居宅介護支援等ケアプラザ全職員に周知できるよう早期発見や見守り体制づくりに努めました。また、地域ケア会議を機に単位自治会が協賛店に登録したほか、地元企業への働きかけ等、地域の見守りの輪をひろげることに努めました。
- 認知症サポーター養成講座の開催や薬局との連携事業(認知症カフェ)の協力、区地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会活動で、高齢者虐待防止にかかる啓発活動を実施しました。

③認知症

- 認知症キャラバン・メイト「旭区ひまわりの会」と協働で認知症サポーター養成講座を開催しました。講座では、地区別計画の取組である「あさひ安全・安心かわら版」メールの普及啓発も協力しました。
- 包括レベル地域ケア会議を機に、交通機関や銀行、商店会等への従業員向け認知症サポーター養成講座の開催を打診してきました。順次実施に向け調整します。今後は、協賛店や協力機関等が集う連絡会の開催を検討していきます。
- 「介護者の輪」参加者拡大をねらいに7月に認知症介護経験者の講話を開催しました。
- 薬局との連携で認知症カフェ運営に協力した中で、認知症の方への対応に困る介護者が多いことから、認知症の関わり方を学ぶ「ユマニチュード」上映会を2月に開催しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 各地域団体の定例会や昼食会等に5職種の各職員が交代で出席し、地域ケアプラザの役割や介護保険制度、見守り等説明し、住民向け啓発を行いました(今年度から連合未加入エリア町内会会合に出席し、地域情報の収集と役員からの相談に対応)。
- 地区民児協定例会に毎回出席し、地域情報の収集と民生委員が日常活動で困った時、ケアマネジャー等関係機関への調整役として対応しました。
- グループホームや小規模多機能型居宅介護の運営推進会議に参加し、支援困難事例の対応や地域ニーズの把握等、多職種による意見交換ができました。また、地域ケアプラザから紹介した囲碁ボランティアによる支援活動が続いています。
- 近隣にある軽費老人ホーム入居者の介護支援ニーズが高まってきており、総合相談や介護保険利用等適切なサービスにつながるよう支援しました。また、軽費老人ホーム職員への理解啓発、相談対応等関係づくりができました。

②医療・介護の連携推進支援

- エリア内外の医療機関を訪問し、顔の見える関係づくりに努めたほか、今年度は区薬剤師会からのモデル事業に、対象者の紹介等協力しました。
- 旭区予防救急ワーキングに参加、利用者および支援者それぞれの意見を踏まえ活用しやすいお薬手帳の作成に向けた意見交換を行いました。
- 地域住民向け医療講座は、近隣薬局の協力を得て、薬剤師や管理栄養士を講師に、「健康診断データの見かた」等、疾病予防や栄養知識向上をねらいに実施しました。
- 近隣地域ケアプラザと共催で、10月に「高齢者のてんかん」について介護サービス事業者向けに講義と意見交換会を開催しました。

③ケアマネジャー支援

- ケアマネジャーからの相談には、日常的に面接、電話、メール等対応しました。相談内容に応じて各職種や区役所地区担当、生活支援課や障害者支援担当と連携し、課題共有や同行訪問、サービス担当者会議開催等で支援しました。
- エリア内の居宅介護支援事業所(3箇所)が集まる学習会に協力し、ケアマネジャー同士の事例検討を行いました。
- 「旭ケアマネット」運営に協力し、前期は運営委員として活動しました。
- 新任・就労予定ケアマネジャー研修は、区役所と地域包括支援センター連絡会の共催で年2回開催しました。一般行政サービスや区社協事業の紹介、近隣施設見学等を企画し、個別支援、ケアプラン作成に活用できる情報の提供や、ケアマネジャー相互の連携をはかる場となりました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 7月の包括レベル地域ケア会議で、認知症の方を地域で見守るための地域住民、旭区徘徊SOSネットワーク協賛店・協力機関等と地域課題を共有しました。
- 11月の個別ケース地域ケア会議は、急坂で外出困難な自治会の個別支援事例を挙げ、自治会住民から困りごとのヒアリングや住民相互のたすけあいの現状等を検討し、今後は自治会内のつながり構築につなげていくよう支援していきます。
- 2月の地区民生委員児童委員と友愛活動員との意見交換会に区社協と企画協力し、地区別計画第1部会の課題につなげるため、「見守り・ちょっとした気づきのポイント」をテーマに勉強会を開催しました。
- 旭区在宅医療相談室、旭区歯科在宅医療連携室との共催で、「多職種で在宅生活を支援」をテーマに事例検討会を開催しました。事例を通して多職種と連携していく過程や、症例・疾患の理解を深めることができました。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- インフォーマルサービスの把握は、地域ケア会議に向けた事前調査等を通じて五職種が協力してすすめました。今後は委託事業所での活用に向け把握した資源情報を定期的に提供していきます。
- 近隣地域ケアプラザとの共催でケアマネジャー支援勉強会と関連しながら、委託事業所の拡大等もはかることができました。
- 月例ミーティングで、担当ケースの適正管理、プランの確認を共有するとともに、生活支援コーディネーターも交え、地域課題の共有等もすすめました。また、給付管理上抜け落ちやすい福祉用具の例外給付等、適宜管理状況を確認しました。
- 基本チェックリストを活用した事業対象者の洗い出しについて、相談に応じながらケアマネジャーにも制度の理解、普及に努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 「転ばん体操」の定期開催では、継続的な参加につながるよう脳トレを多く採用するとともに、仲間づくりを意識したプログラムにしました。
- 「イキイキ」「健康広場」では、介護予防体操、ツボ押し、口腔機能向上、栄養改善と毎回内容を変えて開催しました。サロンとしての実施で住民相互の交流にもなり、参加しやすかったと好評でした。参加者との会話から健康への意識の高さが把

握でき、今後の企画のヒントになりました。

- 自治会館での出張事業は月2回実施し、より効果的な介護予防や集う場所の必要性について理解啓発することができました。今後、自主化に向けた活動支援をすすめていきます。
- 今年度もボランティア育成講座を実施し、ボランティアに「イキイキ」「健康広場」等で体操講師として活動していただきました。新規ボランティア養成の「はじめの一步講座」も実施しました。今後は自治会等の身近な場所でも活躍できるよう支援していきます。

5 その他

(あれば自由に)

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

利用者本位の施設運営を目指し、次の事項を進めました。

- 横浜市社会福祉協議会の運営する地域ケアプラザとして、活動理念の「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくり出す」を基に運営しました。
- 世代を問わず、また障害の有無にかかわらず、地域の皆さんが主体的に参加できるような事業を実施し、地域福祉の推進に努めました。
- 高齢者のみならず、障害児者、子育て関係等様々な利用が想定されるため、施設内の通路をはじめ、各部屋、トイレ、洗面所等、誰もが使いやすいよう整理整頓を心がけました。
- 協定書に基づき、施設管理、清掃業務を適正実施しました。
- 建物整備、保守管理について、当初計画に基づき行いました。
- 部門ごとに検討した業務改善提案の取組により、利用者の安全確保や事務の省力化等を進めました。
- 備品台帳の再確認を行い、不要な備品の廃棄を進めました。

(2) 効率的な運営への取組について

公的な施設であり、指定管理者として地域ケアプラザの役割を認識し、限られた予算内で適正な運営を行う為、経費の削減、資源の有効活用を心がけ、光熱水費の削減に努めました。

- 予算管理に基づく効率的な経営を実施しました。
- 照明の LED 化による省エネ対策を推進するとともに、リサイクル等を職員全員の意識向上を図りながら実践しました。

(3) 苦情受付体制について

地域住民や利用者から寄せられた苦情やご意見をマイナスとしてではなく、業務改善に必要な事由と捉え、施設・法人全体で苦情受付(対応)の体制構築を進めました。

- 苦情受付担当者及び実務責任者を置き、館内にわかりやすく掲示しました。
- 職員一人ひとりが「苦情解決」に積極的に取り組むことができるよう、法人のマニュアルをもとに適切に対処しました。
- 法人にて苦情解決調整委員会を開催し、苦情の報告及び評価を実施しました。
- 法人内で受付けた苦情の情報を共有し、本施設でも起こりうる問題として職員全体で苦情発生を未然に防ぐよう取り組みました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時体制を確立し、公の施設として災害時の対応や防災・防犯を進めました。

- 防災・消火・避難訓練を実施するとともに、地域防災拠点の合同訓練にも協力しました。
- 地域ケアプラザ及び法人本部により重層的に対応する仕組みづくりを進めました。
- 地域の防災訓練や、連合自治会による防災フェスタ等の地域行事にも積極的に参加し、日頃からの顔の見える関係づくりを進めました。
- 緊急時対応マニュアルを職員全体で共有し、有事に備えました。
- AED を常時使用できるように点検を行いました。

(5) 事故防止への取組について

法人が運営する施設の事故報告を集計分析し、法人内の所長会・グループウエアで共有しました。その結果を受け、事故の分析／防止に向けた検討・対応を行いました。

- 事故や感染症の発生等について、地域ケアプラザ全体で「リスクマネジメント」を行う仕組みをつくり、実施しました。
- 事故対応マニュアルを始めとする、各種マニュアルの整備・更新を行いました。
- 事故に至らないケースは、ヒヤリハット事例として職員全体で共有しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の保護については、法人の「保有する個人情報の保護に関する規程」及び「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」に定められている具体的な取組を徹底しました。

- 個人情報が含まれる書類等は、鍵付き専用棚での管理を徹底しました。
- 守秘義務については、「なぜ守らなければならないか」について明文化したものを全職員に説明しました。
- 職員全体会議の場で個人情報保護にかかる研修を全員に行いました。

(7) 情報公開への取組について

法人の情報公開制度を基にして、適切に対応を行いました。情報公開用資料を常設し、通所介護リーフレットの更新や、広報紙のカラー化などをすすめ、常に最新の情報が更新され、わかりやすく情報が伝わるよう取り組みました。

(8) 人権啓発への取組について

法人内の人権啓発研修に職員が複数参加し、特に LGBT への配慮等啓発の取組として、職場内で伝達研修や、業務で使用する様式等への不要な性別記載を削除する等の配慮に努めました。

また、職員全体会議において人権等コンプライアンスの推進にかかる研修を実施し、利用者の人権尊重やチームワーク意識の醸成を図りました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

「ヨコハマ3R夢プラン」に基づき、ゴミの分別、少量化、再資源化に努めました。また、常時点灯している事務所及び一部の共用スペースの照明を LED 化し、継続的な省エネ化を進めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名（常勤）
主任ケアマネジャー	1名（常勤）
社会福祉士	2名（常勤）
介護支援専門員	1名（非常勤）

《目標に対する成果等》

- インフォーマルサービスの把握は、地域ケア会議に向けた事前調査等を通じて五職種が協力してすすめました。今後は委託事業所での活用に向け把握した資源情報を定期的に提供していきます。
- 近隣地域ケアプラザとの共催でケアマネジャー支援勉強会と関連しながら、委託事業所の拡大等もはかることができました。
- 月例ミーティングで、担当ケースの適正管理、プランの確認を共有するとともに、生活支援コーディネーターも交え、地域課題の共有等もすすめました。また、給付管理上抜け落ちやすい福祉用具の例外給付等、適宜管理状況を確認しました。
- 基本チェックリストを活用した事業対象者の洗い出しについて、相談に応じながらケアマネジャーにも制度の理解、普及に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 横浜市社会福祉協議会運営ケアプラザとして、地域・ご利用者最優先の取組をすすめました。
- 担当者不在であっても対応が滞らないよう、体制づくり・情報共有を行いました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
149	154	152	160	157	162
10月	11月	12月	1月	2月	3月
164	167	165	173	175	177

● 居宅介護支援事業

《提供するサービス内容》

利用者の意思を尊重し心身の状況や環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活ができることを目標に次のサービスを提供しました。

- 居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- サービス事業者との連絡調整
- 居宅介護サービス計画の実施状況の把握
- 市区町村への連絡・調整等
- 介護保健施設の紹介その他便宜の提供

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 4名（常勤1名、非常勤3名）

《目標に対する成果等》

地域に求められる、地域に根ざした支援ができる居宅介護支援事業所を目指し、他部門との協力や地域の課題・社会資源を共有しながら、ご利用者と地域の繋がりを強められるよう取り組みました。

関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス等との綿密な連携を図り、多様な事業者から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように調整し、公正中立な居宅サービス計画を作成しました。

介護支援専門員の資質向上を図るため、地域包括支援センターおよび近隣の居宅介護支援事業所とともに事例検討会を開催しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の情報を共有し、課題解決の検討のため、包括・個別レベルの地域ケア会議に出席しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
111	114	116	115	109	107
10月	11月	12月	1月	2月	3月
117	120	128	123	124	121

● 通所介護

《提供するサービス内容》

生活の一部として安心して安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供しました。

- 生活指導（相談援助等） ●機能訓練（体操・歩行練習、音読プログラムなど）
- 介護サービス（入浴・昼食・排泄等支援） ●健康状態の確認 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 基本額	1割負担分	2割負担分	3割負担分
（要介護1）	599円	1,197円	1,795円
（要介護2）	708円	1,415円	2,123円
（要介護3）	816円	1,632円	2,448円
（要介護4）	926円	1,851円	2,776円
（要介護5）	1,034円	2,067円	3,101円
● 加算・減算額	1割負担分	2割負担分	3割負担分
入浴加算	54円	108円	161円
体制強化加算Ⅰイ	20円	39円	58円
中重度ケア体制加算	49円	97円	145円
介護職員処遇改善Ⅰ	所定単位数に1,000分の59を乗じた単位数を加算		
送迎減算(同一建物)	-101円	-202円	-151円
● その他の費用(一律)			
食費	750円（おやつ代65円含む）		
	（各自が希望する個別の特別な）レクリエーション代 実費相当額		

《事業実施日数》 平成30年11月まで 週7日(9/26-29工事のため休業)
平成30年12月から 週6日(年末年始・毎週土曜日休業)

《提供時間》 10:15~15:20

《職員体制》

管理者	1名（常勤・兼務）	生活相談員	2名（常勤・兼務）
看護師	4名（非常勤・兼務）	介護職員	10名（常勤兼務・非常勤）
機能訓練指導員	3名（非常勤・兼務）	運転員	3名（非常勤）

《目標に対する成果等》

専門職として果たすべき役割を明確にし、各分野でのスキルアップを目標に職員研修を実施し意欲向上を図りました。（車両事故防止対策・接遇マナー・介護技術・レクリエーション等）

地域住民向けボランティア養成講座を地域活動交流、地域包括支援センターと協働で行い、サービスに協力いただくボランティアが増加しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域向けに発行する地域ケアプラザ広報紙の特集として、通所介護で関わるボランティアや利用者の作品をPRする等の情報提供を行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
545	582	559	560	580	504
10月	11月	12月	1月	2月	3月
590	577	527	513	550	606

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

生活の一部として安心して安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供しました。

- 生活指導（相談援助等） ●機能訓練（体操・歩行練習、音読プログラムなど）
- 介護サービス（入浴・昼食・排泄等支援） ●健康状態の確認 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 基本額	1割負担分	2割負担分	3割負担分
①事業対象者、要支援1	1,766円	3,531円	5,297円
②要支援2<週1程度>	1,766円	3,531円	5,297円
③事業対象者、要支援2<週2程度>	3,621円	7,241円	10,861円
● 加算額	1割負担分	2割負担分	3割負担分
生活機能向上Gp活動	108円	215円	322円
運動器機能向上	242円	483円	724円
口腔機能向上	161円	322円	483円
サービス複数実施I	515円	1,029円	1,544円
体制強化加算Iイ			
①事業対象者、要支援1	78円	155円	232円
②要支援2<週1回程度>	78円	155円	232円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	155円	309円	463円
体制強化加算Iロ			
①事業対象者、要支援1	52円	103円	155円
②要支援2<週1回程度>	52円	103円	155円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	103円	206円	309円
体制強化加算II			
①事業対象者、要支援1	26円	52円	78円
②要支援2<週1回程度>	26円	52円	78円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	52円	103円	155円
介護職員処遇改善I	所定単位数に1,000分の59を乗じた単位数を加算		
● その他の費用(一律)			
食費	750円(おやつ代65円含む)		
	(各自が希望する個別の特別な)レクリエーション代 実費相当額		

《事業実施日数》 平成30年11月まで 週7日(9/26-29工事のため休業)
平成30年12月から 週6日(年末年始・毎週土曜日休業)

《提供時間》 10:15~15:20

《職員体制》

管理者	1名(常勤・兼務)	生活相談員	2名(常勤・兼務)
看護師	4名(非常勤・兼務)	介護職員	10名(常勤兼務・非常勤)
機能訓練指導員	3名(非常勤・兼務)	運転員	3名(非常勤)

専門職として果たすべき役割を明確にし、各分野でのスキルアップを目標に職員研修を実施し意欲向上を図りました。(車両事故防止対策・接遇マナー・介護技術・レクリエーション等)

地域住民向けボランティア養成講座を地域活動交流、地域包括支援センターと協働で行い、サービスに協力いただくボランティアが増加しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

地域向けに発行する地域ケアプラザ広報紙の特集として、通所介護で関わるボランティアや利用者の作品をPRする等の情報提供を行いました。

《利用者実績(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	17	15	17	14	18
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	17	16	18	17	17

平成30年度 横浜市上白根地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,431,160	843,420	17,274,580	16,771,927	502,653	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	149,500	△ 149,500	
自主事業収入			0		0	
雑入	0		0	125,169	△ 125,169	
印刷代	0		0	120,969	△ 120,969	
自動販売機手数料			0	4,200	△ 4,200	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	2,380,000		2,380,000	2,380,000	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	1,359,000		1,359,000	1,359,000	0	
収入合計	20,170,160	843,420	21,013,580	20,785,596	227,984	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,702,000	0	11,702,000	13,397,254	△ 1,695,254	
本俸	7,317,000		7,317,000	8,049,973	△ 732,973	
社会保険料	735,000		735,000	756,095	△ 21,095	
手当計	1,900,000		1,900,000	4,119,531	△ 2,219,531	
健康診断費	20,000		20,000	14,175	5,825	
勤労者福祉共済掛金	28,000		28,000	6,750	21,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,702,000		1,702,000	450,730	1,251,270	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,930,000	0	1,930,000	1,861,924	68,076	
旅費	40,000		40,000	14,202	25,798	
消耗品費	400,000		400,000	449,309	△ 49,309	
会議賄い費	3,000		3,000	0	3,000	
印刷製本費	20,000		20,000	155,345	△ 135,345	
通信費	100,000		100,000	129,272	△ 29,272	
使用料及び賃借料	0	0	0	37,689	△ 37,689	
横浜市への支払分	0		0	4,200	△ 4,200	
その他	0		0	33,489	△ 33,489	
備品購入費	500,000		500,000	123,034	376,966	
図書購入費	25,000		25,000	0	25,000	
施設賠償責任保険	70,000		70,000	16,969	53,031	
職員等研修費	20,000		20,000	12,398	7,602	
振込手数料	5,000		5,000	0	5,000	
リース料	567,000		567,000	91,624	475,376	
手数料	150,000		150,000	47,082	102,918	
地域協力費	10,000		10,000	18,000	△ 8,000	
その他	20,000	0	20,000	767,000	△ 747,000	
事業費	278,000	0	278,000	766,505	△ 488,505	
運営協議会経費	42,000		42,000	29,346	12,654	
指定管理料充当 事業	236,000		236,000	737,159	△ 501,159	
管理費	5,324,000	843,420	6,167,420	5,951,179	216,241	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	3,212,000	0	3,212,000	2,948,280	263,720	
電気料金	964,000		964,000	884,484	79,516	
ガス料金	1,028,000		1,028,000	943,450	84,550	
水道料金	1,220,000		1,220,000	1,120,346	99,654	
清掃費	826,000		826,000	984,181	△ 158,181	
修繕費	474,000	843,420	1,317,420	1,092,619	224,801	
機械警備費	117,000		117,000	131,155	△ 14,155	
設備保全費	695,000	0	695,000	794,944	△ 99,944	
空調衛生設備保守	306,000		306,000	346,623	△ 40,623	
消防設備保守	20,000		20,000	21,443	△ 1,443	
電気設備保守	233,000		233,000	284,794	△ 51,794	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	136,000		136,000	142,084	△ 6,084	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	936,160	0	936,160	1,071,780	△ 135,620	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	936,160		936,160	1,071,780	△ 135,620	
印紙税	0		0	0	0	
その他 ()	0		0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	20,170,160	843,420	21,013,580	23,048,642	△ 2,035,062	
差引	0	0	0	△ 2,263,046	2,263,046	

自主事業費収入	236,000		236,000	149,500	86,500	自主事業への参加料等
自主事業費支出	236,000		236,000	737,159	△ 501,159	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 587,659	587,659	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	4,200	△ 4,200	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	4,200	△ 4,200	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度 横浜市上白根地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	28,920,000	0	28,920,000	28,724,231	195,769	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入		0	0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0	0	0	56,000	△ 56,000	
指定管理料充当事業（介護予防）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0	0	0	0	0	
自主事業収入		0	0		0	
雑入	0	0	0	4,200	△ 4,200	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	4,200	△ 4,200	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0	0	0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）	2,397,000	0	2,397,000	2,397,000	0	
収入合計	37,257,000	0	37,257,000	37,121,431	135,569	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	35,107,064	△ 2,418,064	
本俸	13,871,000	0	13,871,000	16,985,150	△ 3,114,150	
社会保険料	3,616,000	0	3,616,000	4,463,093	△ 847,093	
手当計	7,969,000	0	7,969,000	11,368,346	△ 3,399,346	
健康診断費	42,000	0	42,000	67,725	△ 25,725	
勤労者福祉共済掛金	50,000	0	50,000	32,250	17,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	7,141,000	0	7,141,000	2,190,500	4,950,500	
その他	0	0	0	0	0	
事務費	1,844,000	0	1,844,000	1,880,662	△ 36,662	
旅費	100,000	0	100,000	85,214	14,786	
消耗品費	470,000	0	470,000	80,707	389,293	
会議賄い費	20,000	0	20,000	8,000	12,000	
印刷製本費	50,000	0	50,000	15,282	34,718	
通信費	290,000	0	290,000	205,881	84,119	
使用料及び賃借料	0	0	0	35,411	△ 35,411	
横浜市への支払分	0	0	0	4,200	△ 4,200	
その他	0	0	0	31,211	△ 31,211	
備品購入費	320,000	0	320,000	349,952	△ 29,952	
図書購入費	34,000	0	34,000	6,570	27,430	
施設賠償責任保険	90,000	0	90,000	4,511	85,489	
職員等研修費	50,000	0	50,000	64,632	△ 14,632	
振込手数料	5,000	0	5,000	0	5,000	
リース料	300,000	0	300,000	14,260	285,740	
手数料	100,000	0	100,000	972	99,028	
地域協力費	0	0	0	46,000	△ 46,000	
その他	15,000	0	15,000	963,270	△ 948,270	
事業費	1,308,000	0	1,308,000	805,280	502,720	
協力医	630,000	0	630,000	504,000	126,000	
指定管理料充当 事業（包括）	218,000	0	218,000	60,000	158,000	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000	0	151,000	190,000	△ 39,000	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000	0	309,000	51,280	257,720	
管理費	1,416,000	0	1,416,000	1,347,741	68,259	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	854,000	0	854,000	783,719	70,281	
電気料金	256,000	0	256,000	235,116	20,884	
ガス料金	273,000	0	273,000	250,790	22,210	
水道料金	325,000	0	325,000	297,813	27,187	
清掃費	220,000	0	220,000	261,617	△ 41,617	
修繕費	126,000	0	126,000	56,231	69,769	
機械警備費	31,000	0	31,000	34,863	△ 3,863	
設備保全費	185,000	0	185,000	211,311	△ 26,311	
空調衛生設備保守	81,000	0	81,000	92,139	△ 11,139	
消防設備保守	6,000	0	6,000	5,700	300	
電気設備保守	62,000	0	62,000	75,703	△ 13,703	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	36,000	0	36,000	37,769	△ 1,769	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他（ ）	0	0	0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	37,257,000	0	37,257,000	39,140,747	△ 1,883,747	
差引	0	0	0	△ 2,019,316	2,019,316	

自主事業費収入	0	0	0	56,000	△ 56,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0	0	0	301,280	△ 301,280	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 245,280	245,280	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	4,200	△ 4,200	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	4,200	△ 4,200	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市上白根地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,090	3,115	975	16,124	16,740	-616	58,214	70,383	-12,169	0	0	0
	その他	4,090	6,558	-2,468	1,381	906	475	12,931	143	12,788	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	4,090	6,558	-2,468	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	6,467	44	6,423	0	0	0
	受託事業収入(要介護認定調査・介護予防原案作成)	0	0	0	1,381	906	475	0	0	0	0	0	0
	利用料収入	0	0	0	0	0	0	6,183	0	6,183	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	281	99	182	0	0	0
	収入合計(A)	8,180	9,673	-1,493	17,505	17,646	-141	71,145	70,526	619	0	0	0
支出	人件費	2,643	2,359	284	15,634	15,174	460	46,829	39,973	6,856	0	0	0
	事務費	8	9	-1	45	43	2	253	733	-480	0	0	0
	事業費	152	23	129	857	764	93	19,360	22,323	-2,963	0	0	0
	管理費	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0
	その他	4,107	5,459	-1,352	744	970	-226	2,376	3,796	-1,420	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	4,107	5,459	-1,352	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	拠点区分間繰入金支出	0	0	0	744	970	-226	2,376	3,796	-1,420	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計(B)	6,910	7,850	-940	17,280	16,951	329	68,818	66,825	1,993	0	0	0	
収支 (A) - (B)	1,270	1,823	-553	225	695	-470	2,327	3,701	-1,374	0	0	0	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	①対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
おもちゃの貸し出し	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②29人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
図書コーナー	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②22人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
福祉用具の貸し出し	①地域	12,600	地活	12,600	0	0	0	6,600	6,000
	②104人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
上白根ギャラリー	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②35人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
お茶のみサロン	①高齢者	124,878	地活	45,478	79,400	0	10,000	114,878	0
	②392人		包括	0					
	③200円		介護	0					
			生活	0					
合同歌声喫茶2018 (収支は実行委員会)	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②449人		包括	0					
	③500円		介護	0					
			生活	0					
上白根ふれあい農園	①地域	20,813	地活	20,813	0	0	0	20,813	0
	②44人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
ぶらざ・かふえ・ゆるり	①地域	14,738	地活	6,138	8,600	0	0	14,738	0
	③89人		包括	0					
	③200円		介護	0					
			生活	0					
出張健康測定 & 福祉ミニ講座 in中白根	①地域	21,462	地活	10,902	0	0	0	10,902	0
	②110人		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		介護	0	0	0	0	0	0
			生活	10,560	0	0	0	10,560	0
A2ライン共催事業 「七夕まつり」	①親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②82人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
親子deイベント 「ハロウィン運動会」 (親子サークル遊 共催)	①親子	5,506	地活	3,306	2,200	0	0	5,506	0
	②65人		包括	0					
	③一般参加者100円		介護	0					
			生活	0					
上白根カラオケ倶楽部	①地域	14,264	地活	14,264	0	0	0	14,264	0
	②375人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	①対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ママのための ヒーリングヨガ講座	①親子	50,000	地活	31,100	18,900	0	50,000	0	0
	②95人		包括	0					
	③300円		介護	0					
			生活	0					
リトミック	①親子	67,000	地活	42,400	24,600	0	67,000	0	0
	②187人		包括	0					
	③300円		介護	0					
			生活	0					
白根学園「麦の丘」 パン販売	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②785人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
花だんづくり	①子ども	9,050	地活	9,050	0	0	0	9,050	0
	②15人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
子どもの居場所 兼学習支援	①子ども	364,133	地活	364,133	0	0	285,250	78,883	0
	②240人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
上白根地域ケアプラザ 草刈り大作戦！	①地域	3,782	地活	3,782	0	0	0	3,782	0
	②28人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
かみしらねキッズ倶楽部 ①お菓子作り教室 ②ハードコールを作ろう ③ぞうふんペーパーを作ろう	①子ども	18,000	地活	12,800	5,200	0	10,000	8,000	0
	②40人		包括	0					
	①,②200円/③100円		介護	0					
			生活	0					
横浜旭陵高校 地域貢献デー	①高校生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②31人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出店	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②450人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
ジュニアボランティア 福祉体験	①小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②15人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
地域住民向け 医療講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②58人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
A2ライン共催事業 「ひなまつり」	①親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②82人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	①対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
教えて！グランマ	①地域	3,000	地活	3,000	0	0	3,000	0	0
	②13人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
上白根コミュニティハウス共催 さくらまつり出店	①地域	7,016	地活	3,139	0	0	0	7,016	0
	②163人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	3,877					
啓発事業 「生活支援ロボット 体験キャラバン」	①地域	216	地活	216	0	0	0	216	0
	②69人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
啓発事業 「障がい福祉セミナー」	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②8人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
ワイワイあさひ (夏まつり・クリスマス会) (収支は団体)	①障害者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②152人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
認知症サポーター 養成講座	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②21人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
白根おれんじカフェ	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②17人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
司法書士が伝授する 無料のセミナー&相談 会	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②30人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
旭区版 エンディングノート 活用講座	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②108人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
脳トレ教室 前期「いこいの広場」 後期「華の脳トレ教室」	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②366		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
介護者の輪	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②43人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
介護予防教室 「2018 転ばん体操」 (①前期・②後期)	①高齢者	60,000	地活	0	56,000	0	60,000	0	0
	②252人		包括	4,000					
	③1,000円/6回分		介護	0					
			生活	0					

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	①対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
健康測定会	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②42人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
かみしらね 福祉アカデミー	①介護支援専門員	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②145人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
脳トレ・体操・茶話会 「イキイキ」	①高齢者	38,638	地活	38	10,600	0	28,000	10,638	0
	②188人		包括	0					
	③100円/回		介護	28,000					
			生活	0					
筋力維持体操 「きずな」	①高齢者	69,120	地活	0	0	0	60,000	0	9,120
	②169人		包括	0					
	③無料		介護	69,120					
			生活	0					
介護予防体操 スキルアップ講座	①高齢者	60,000	地活	0	0	0	60,000	0	0
	②77人		包括	0					
	③無料		介護	60,000					
			生活	0					
白根台第九自治会 「くつろぎの場」 介護予防講座	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②69人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
健康広場	①高齢者	32,880	地活	0	0	0	26,000	0	6,880
	②103人		包括	0					
	③無料		介護	32,880					
			生活	0					
上白根ハイツ体操教室	②地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②97人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
あさがお体操教室	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②25人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
体操ボランティアへの リハ職派遣講座	①体操ボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②13人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
介護者のお話 「若年性認知症の 妻を介護して13年」	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②6人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
横浜旭陵高校×地域 ボランティア プロジェクト	①高校生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②12人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	①対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
よこはま シニアボランティア ポイント登録研修会	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②4人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					
ボランティア・ はじめの一歩講座	①地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②9人		包括	0					
	③無料		介護	0					
			生活	0					

平成30年度 自主事業報告書

横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもちゃの貸し出し	地域の子育てサロンや個人宅での親子の交流に使用してもらうことを目的として、「手づくりボランティア」が制作した布おもちゃを中心に、地域ケアプラザで保管するおもちゃの貸し出しを実施しました。	随時 29件/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
図書コーナー	子どもが気軽に立ち寄ってもらえるよう、また図書館に一人で行くのが困難な方にも気軽に本を読んでもらえるよう、図書の貸し出しや地域ケアプラザで読書できる機会を提供しました。	随時 22件/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具の貸し出し	地域ケアプラザで保有する福祉用具を、緊急・一時的に必要とする方向けに貸し出しを実施しました。	随時 104件/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根ギャラリー	地域住民が制作した絵画や写真等の作品を展示できる場を提供しました。	随時 35件/年

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お茶のみサロン	概ね65歳以上の高齢者（独居高齢者、高齢者世帯）の閉じこもり防止・外出機会の創出や仲間づくりの場の提供を目的として実施しました。 共催：ボランティアグループ「すみれ会」	毎月第3土曜日 (8月を除く) 計11回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2018	歌を通じての社会参加と仲間づくりを目的として区内全地域ケアプラザ合同で実施しました。	5月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根 ふれあい農園	ケアプラザ空きスペースを有効活用し、野菜や花を育て、収穫物を自主事業等に使用しました。 また、畑仕事を通じた地域住民の交流、ボランティアの発掘・育成を目的に実施しました。	4-3月 概ね第2金曜日 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぷらざ・かふえ ・ゆるり	地域住民が気軽に立ち寄れる居場所、世代間交流の場として、またコーヒーボランティアの活動の場所として実施しました。	毎月第2火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張健康測定& 福祉ミニ講座 in中白根	担当エリアの空家の所有者から地域のために場所を使ってほしいとの提案を受け、地域住民の皆様と場の活用を考えていくきっかけとするための事業として実施しました。	6月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
七夕まつり (A2ライン[旭 北地区子育て支 援運営委員会] 共催)	旭北地区の子育て中の親子を対象として、仲間作りや気軽に相談できる関係づくりを目的として実施しました。 (流しそうめん、手遊び、パネルシアター等)	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子deイベント 「ハロウィン運 動会」(親子サー クル遊共催)	就園前の親子を対象に、親子サークル「遊」と共催し、「ハロウィン運動会」を実施し、居場所づくり・ふれあいの場を提供しました。	10月 計1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根 カラオケ倶楽部	地域住民の交流の場、また脳トレの一環としてカラオケ倶楽部を実施しました。	4-3月 第3水曜日(午前) 毎週木曜日(夜間) 第4金曜日(午後) 計73回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママのための ヒーリングヨガ 講座	ヨガを通して健康を意識するとともに、子育て中の保護者の交流、仲間づくりの場の提供を目的に実施しました。	5-2月 第4火曜日 計10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リトミック	乳幼児の親子の交流と地域の仲間づくりを目的とした場の提供として実施しました。	4-3月(8月除く) 第4金曜日 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白根学園「麦の 丘」パン販売	地域の障がい福祉事業所との共催で、障がい当事者の外出機会と地域住民との交流を目的として実施しました。	4-3月 第3金曜日等 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
花だんづくり	地域の個別支援級に通う小学生の親子を対象に、ケアプラザ敷地内で花だんづくり等の余暇支援事業として実施します。また、緑化整備と地域住民との交流をねらいに農園ボランティアの協力を得て実施しました。	5・7月第1土曜日 9・10月第3土曜日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもの居場所 兼学習支援	ケアプラザ近隣在住の小学生の居場所づくりと学習支援を兼ね、地域ボランティアによる異世代交流の場として実施しました。	4-3月 毎週火曜日 (祝日を除く) 計49回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根地域ケアプラザ草刈り大作戦！	ケアプラザ周辺の環境整備と登録団体Ⅱの交流、福祉保健活動を目的に実施しました。	6月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみしらねキッズ倶楽部	地域の小学生の夏休み余暇支援として実施しました。 ①お菓子作り教室 ②バードコールを作ろう ③ぞうふんペーパーを作ろう	7月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜旭陵高校地域貢献デー	横浜旭陵高校からの依頼で、高校生の地域貢献を目的として実施しました。 (地域清掃、通所介護利用者との交流等ボランティア活動)	9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり行政・PRコーナー出店	区内ケアプラザPRのため、区民まつりにブースを出店しました。(区内地域ケアプラザ共催)	10月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ジュニアボランティア福祉体験	小学生の福祉啓発を目的として、地域の民生委員児童委員との協働によりケアプラザ内で福祉体験を実施しました。	9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域住民向け医療講座	地域住民向けに専門職による講義を通して医療知識を深めることを目的として、健康増進や早期介護予防等の取組につなげられるよう実施しました。 (講師・協力：薬樹薬局) ①感染症予防について ②健康診断数値の見かた ③ロコモ予防とは？ ④服薬管理について	12-2月 計4回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ひなまつり (A2ライン[旭北地区子育て支援運営委員会]共催)	旭北地区の子育て中の親子を対象として、仲間作りや気軽に相談できる関係づくりを目的として実施しました。 (豚汁、手遊び、パネルシアター等)	2月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
教えて！ グランマ	「手づくりボランティア」の協力のもと、入園・入学グッズを制作しながら、異世代交流・地域の仲間づくりの場として実施しました。	2月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根コミュニティハウス さくらまつり 出店	上白根コミュニティハウスのお祭りにケアプラザブースとして出店し、地域ケアプラザのPR、参加者の健康増進意欲向上及び住民ニーズの把握として、アンケートを実施しました。(バルーンアート体験・健康測定)	3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
啓発事業 「生活支援ロボット体験キャラバン」	地域住民向けに最新の生活支援ロボット等最新の情報を知る機会として、生活支援ロボットキャラバン体験会を実施しました。	2月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
啓発事業 「障がい福祉セミナー」	障がいのある人にかかる見守り支援のひとつとして、横浜市後見的支援制度のしくみと地域における見守り支援者「あんしんキーパー」の実際を理解し、地域の見守り体制構築に役立てることをねらいに実施しました。	3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワイワイあさひ事業	障がい当事者の余暇支援、地域住民との交流を目的として「ワイワイあさひ」実行委員会の共催事業により実施しました。 ①夏まつり ②クリスマス会	①8月 ②12月 計2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	地域住民を対象に認知症の基礎知識についての正しい理解、認知症の理解者・応援者となるべくサポーターを養成しました。 ①白根台第九自治会「くつろぎの場」 ②上白根地域ケアプラザ「介護者の輪」	①10月 ②1月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白根おれんじカフェ	白根ゆり薬局で毎月実施している認知症カフェに協力し、身近な地域での理解啓発活動を支援しました。	4-3月 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
司法書士が伝授する無料のセミナー&相談会	老後のお金、遺言、相続、成年後見制度等の理解促進を目的としてセミナーを実施しました。	9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区エンディングノート活用講座	区役所・近隣地域ケアプラザと共催で、旭区で作成したエンディングノートの書き方やもしもの時に備えておくべきこと等を考える機会として実施しました。	10-12月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレ教室 ①「いこいの広場」 ②華の脳トレ教室	脳の活性化や認知症予防に関心のある概ね65歳以上の方を対象に、参加者同士の交流、脳トレや体操を通じた介護予防の啓発事業を実施し、特に11月からは名称を変えて自主化に向け支援しました。	①5-10月 計6回 ②11-3月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の輪	介護をしている仲間と話をすることで今後の介護に役立ったりリフレッシュできる機会として実施しました。	4-3月 第1火曜日 計12回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防教室 「2018 転ばん体操」 (①前期・②後期)	運動が苦手な方でも気軽に参加でき、参加者同士の交流、運動や脳トレを行う機会づくり等、介護予防の取組として実施しました。	①4-9月 ②10-3月 第2水曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康測定会	地域ケアプラザ、介護予防の普及啓発と自身の健康について理解を深める機会として実施しました。	4月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみしらね 福祉アカデミー	主にエリア内や周辺のケアマネジャーを対象に定期的な研修、情報交換の場として実施しました。 <主なテーマ> 地域ケア会議・生活習慣病・基幹相談支援センター・認知症・ケアマネジメント・面接技術 (ひかりが丘・今宿西各地域ケアプラザと共催)	5, 6, 9, 10, 12, 2月 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳トレ・体操・茶話会 「イキイキ」	脳トレや体操を行うサロンとして、楽しく介護予防を進めるとともに、仲間づくりを目的として実施しました。	6-3月 第1水曜日等 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
筋力維持体操 「きずな」	自主的な介護予防活動の育成・支援を目的として、ケアプラザから遠い住民でも身近に参加できるよう、東急白根自治会館での出張事業として実施しました。	4月から3月まで 第1水曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防体操 スキルアップ 講座	ケアプラザの介護予防事業参加者が、身近な地域で自主的に活動できるためのスキルアップを目的として実施しました。	4-7月 第2金曜日 計4回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白根台第九自治会「くつろぎの場」介護予防講座	地域住民が集う場にうかがい、介護予防にかかる講座を実施し、健康や介護予防について理解を深める機会として実施しました。	5, 6, 10, 3月 第3月曜日 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康広場	体操、笑いヨガ、口腔ケア、栄養講座等のプログラムで、あらゆる面から健康づくりを考える機会として、出張介護予防講座を東急白根自治会館にて実施しました。	7-2月 第2木曜日 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根ハイツ体操教室	上白根ハイツ自治会・定例会の中で、介護予防・健康維持を目的として実施しました。	5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 2, 3月 第1金曜日 計9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あさがお体操教室	地区保健活動推進員会による体操教室のフォローとして、健康に対する意識を高め今後の体操教室の発展につなげることをねらいとして実施しました。	4月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操ボランティアへのリハ職派遣講座	平成29年度から実施している介護予防体操ボランティア養成講座受講者向けのフォローの一環で、地域における介護予防の取組拡大をねらいとして実施しました。	8月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のお話「若年性認知症の妻を介護して13年」	認知症の介護に課題・関心のある地域住民を対象に、介護経験者の講話により、認知症介護の普及啓発及び介護者の負担軽減につなげる機会として実施しました。	8月 計1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜旭陵高校× 地域ボランティア プロジェクト	単位制高校のボランティア単位取得のため、地域活動へのコーディネートを行うことで、地域活動への青少年の参加促進につなげる目的として、実施しました。（旭区社会福祉協議会、ひかりが丘地域ケアプラザとの協働事業）	10-3月 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニア ボランティアポ イント登録研修 会	横浜市上白根地域ケアプラザ及び周辺施設等におけるシニアボランティア活動者養成を目的として実施しました。	12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア・ はじめの一步講 座	地域住民を対象に、今後の地域のあり方やボランティアの魅力を学び、地域活動の担い手養成を目的として実施しました。（旭区社会福祉協議会、旭区障害者後見的支援室「絆」協力）	12月 計1回